



Program Guide

Academy Partners





目次

I. 概要	1
Academy Partner プログラムの目標	1
IT 業界の展望:なぜ IT キャリアなのか	2
II. パートナーベネフィット	3
CompTIA の IT カリキュラム	3
アカデミックミーティングの実施(CompTIA 日本支局のみの提供)	7
割引バウチャーの提供	7
マーケティングツール/リソース.....	7
ビジネス拡張のためのツール/リソース.....	7
インストラクターツール/リソース	7
Academy Partner ポータルサイト.....	8
III. Academy Partner 登録の条件	9

I. 概要

CompTIA Academy Partner Program (CAPP Academy) は、やりがいがあり、成長著しいIT業界でのキャリアを目指す学生を対象に作られたプログラムです。このプログラムは、学校機関や非営利、または政府系のトレーニング機関を対象としています。

このパートナープログラムを通して、CompTIA は次の項目においてツールやリソースの提供、サポート支援をいたします。

- ・ 充実した IT カリキュラムの作成
- ・ IT コースを選択する際の、学生への支援
- ・ 投資面、経営面の効率化
- ・ 長期的なキャリア成長につながる学生の成績向上

Academy Partner プログラムの目標

Academy パートナーは、CompTIA が最も重要とするパートナーです。CompTIA は、ワークフォース、学生の雇用適性、長期的な教育の価値を向上するため、教育機関との取り組みを行っています。Academy Partner プログラムの目標には下記があります。

- ・ **スキルを持っているプロフェッショナルの供給** — スキルギャップを解消し、IT プロフェッショナル要員の育成を行うことが主な目的です。
- ・ **学生の IT キャリアスタートの準備支援** — このプログラムでは、学生が確実な IT キャリアパスを積む上で欠かせない IT 知識とスキルを取得することを可能にします。これには、学生がパスを積む上で必要となるリソース、長期的なキャリア展開のための機会を知るリソースの支援が含まれます。
- ・ **教育機関への支援** — 学校の管理者やインストラクターが IT カリキュラムの計画、準備、提供をする際に必要となる情報やツール、リソースの提供が含まれています。
- ・ **IT カリキュラムの充実** — CompTIA は、ラーニングコンテンツ、認定資格、認定試験の提供をしています。基盤となるスキルからエキスパートレベルの認定資格を、広範囲の技術分野において提供しているため、様々な IT カリキュラムを開発することが可能です。また、CompTIA のプログラムは技術ニュートラルかつベンダーニュートラルであるため、学生が学ぶスキルは、異なる技術環境下において応用の効くスキルとなります。

CompTIA Academy パートナープログラムの対象者

CompTIA Academy Partner プログラムに参加いただける教育機関は次の種別となります。

- | | |
|----------------|----------------|
| ✓ 専門学校 | ✓ 短大、大学 |
| ✓ 非営利のトレーニング機関 | ✓ 政府系のトレーニング機関 |

IT 業界の展望:なぜ IT キャリアなのか

IT は、米国において最も急成長している分野のひとつで、数多くのキャリア機会があるといわれています。IT カリキュラムの開発を進める上で、重要となるポイントをいくつかご紹介します。

- ・ **いたるところに存在するニーズ** — ほとんどの仕事においては、IT 知識とスキルは必要とされています。必ずしも技術をメインとしていない企業においても IT 職は存在し、彼らのビジネスを運営する上で技術は欠かせないものとなっています。すべてのビジネスに IT プロフェッショナルは必要なのです。
- ・ **著しく成長する IT 雇用** — 米国政府によると 2008 年～2018 年の間、IT 雇用は 20.3%の成長を遂げると予測されています。全体の IT プロフェッショナル雇用は、2018 年までには 400 万人を超えると予測されています。
- ・ **就業人口の不足** — 米国では、200,000 以上の IT 求人が空いています。その数は、ベビーブーム世代の退職を境に急増するといわれているため、IT キャリアを目指す学生にはこのギャップを埋めるべく多くの機会が存在します。
- ・ **学位や認定資格の重要性** — 今日では仕事を探す際、より多くのスキルを持っていることが求められます。学位と共に認定資格を取得していることは、雇用の際、有利となることが証明されています。

II. パートナーベネフィット

このプログラムでは、質の良い IT カリキュラムの実施を支援するため、様々なベネフィットを提供しています。

CompTIA Partner Benefit Summary	
PARTNER BENEFIT	
IT カリキュラム	テクノジーニュートラル、ベンダーニュートラルな認定資格/認定試験のカリキュラムを受講することで学生の IT 知識とスキルの育成を支援します。
割引バウチャーの提供	認定資格/認定試験をアカデミー価格で提供します。 CompTIA 日本支局 Web サイト http://www.comptia.jp/cappacademy.html をご参照ください。
アカデミックミーティングの実施 (CompTIA 日本支局のみの提供)	IT 業界で働く企業の皆様や、採用を担当されている人事の皆様と先生/学生を対象としたセミナー(ワークショップ)を実施。企業で求められている人材像や必要とされる IT スキルをはじめ、「働くということは」「社会人とは」といった内容についてもお話をいただいています。(希望校対象)
マーケティング ツール/リソース	CompTIA ロゴ、マーケティングツール、テンプレートのご利用が可能です。必要に応じて、ノベルティの提供などのご支援をします。 CompTIA パートナーを証明する CompTIA パートナー証として、バナーをご提供します。 CompTIA パートナーオンラインディレクトリに掲載させていただきます。 ※個人情報に基づき、掲載の可否については都度ご指示ください。 CompTIA 認定資格/認定試験の認知を高めるための CompTIA キャンペーンへご参加をいただけます。
ビジネス拡張のための ツール/リソース	IT 業界のリサーチやニュースレターをご覧くださいことができます。(一部日本語化されていますが、原則としては英語です。)
インストラクター ツール/リソース	インストラクター向けに無料バウチャーを提供いたします。 認定試験についてのトレーニングや模擬テストなどを無料で提供いたします。(英語のみ)
アカデミーパートナー ポータルサイト (英語のみ)	IT カリキュラムの計画や実施、学生の就職活動の支援になるようリソースにアクセスいただけます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ プロフェッショナルや、企業/学校機関のケーススタディ ・ 認定資格のパンフレットやポスター ・ リサーチや白書 等

CompTIA の IT カリキュラム

CompTIA は、IT プロフェッショナルの確実なキャリアの達成を支援するため、多くの認定資格/認定試験を提供しています。それには、IT 基礎知識やエントリーレベルの技術スキルに関するトレーニングパートナーより提供されるラーニングコンテンツや、精通したプロフェッショナルを対象とした認定資格が含まれます。広範囲な IT コンテンツ提供を通して、学生の就職活動に備えたカリキュラムの開発が可能となります。

CompTIA の認定資格/認定試験、CompTIA パートナーのラーニングコンテンツは IT カリキュラムの基盤となります。

- ・ CompTIA 認定資格 — 認定資格試験では、受験者のスキル・知識を問います。これらの認定資格は実務能力が問われるため、就職時に有効となります。

- － 認定資格の取得は、雇用の確保、キャリア機会、職場での信頼性の向上を意味します。
- － 認定資格を取得しているプロフェッショナルの雇用は、顧客満足度、生産性の向上、低離職率を意味します。
- ・ CompTIA 認定試験 － 認定試験では、情報技術に関する基本となる知識・スキルを評価します。CompTIA 認定資格を保有するプロフェッショナルは、IT や技術に関連する職務に就くため必要とされる知識を持っていることを証明することができます。
- ・ ラーニングコンテンツ － CompTIAのラーニングコンテンツパートナーは、様々なラーニングツールを提供しています。詳しくは、CompTIA 日本支局ウェブページよりご確認ください。

ステップングストーンカリキュラム

多くの学校機関では、一つのプログラム(IT Fundamentals、CompTIA A+等)から得られた知識やスキルを、上位レベルのプログラム(CompTIA Network+、Security+等)へのステップングストーンとして活用しています。


CompTIA IT Fundamentals は、学生の CompTIA A+の受験準備に役立つ基礎知識を評価する認定プログラムです。



CompTIA 認定資格のカリキュラム設計

CompTIA 認定資格を活用することで、確実な知識やスキル基盤を提供するテクノロジー中立なカリキュラムを作成することが可能です。

下記は、IT カリキュラムの作成にご活用いただける CompTIA 認定資格/認定試験およびラーニングコンテンツです。詳細については、CompTIA 日本支局ウェブサイトよりご確認ください。www.comptia.jp

コアとなるカリキュラムオプション	
CompTIA 認定資格/ 認定試験	カリキュラム内容
	<p>CompTIA IT Fundamentals</p> <ul style="list-style-type: none"> IT キャリアに必要とされる基礎知識を必要とする、または CompTIA A+認定資格の取得を目指す学生 PC やスマートフォン、タブレットなどのハードウェアコンポーネントと機能、互換性やネットワーク、セキュリティ、基本的な IT リテラシーに関するスキルを評価 学生の知識やスキルレベルによるが、IT Fundamentals は 1 ヶ月、1 学期、または 1 年で学ぶことが可能
	<p>CompTIA A+</p> <ul style="list-style-type: none"> エントリーレベルレベルの IT エンジニアを目指す学生 コンピュータの予備メンテナンス、基本的なネットワーク、インストール、トラブルシューティング、コミュニケーションスキル、職業意識 A+取得者は、ワールドワイドで 100 万人以上 A+は、米国国防総省で取得が必須とされている他、マイクロソフト、HP、シスコといったベンダー資格の選択要件の一つとされています。
	<p>CompTIA Network+</p> <ul style="list-style-type: none"> エントリーレベルのネットワークエンジニアを目指す学生 ネットワークインフラストラクチャの管理、メンテナンス、トラブルシューティング、運営、設定 Network+は、米国国防総省で取得が必須とされている他、マイクロソフト、HP、シスコといったベンダー資格の選択要件の一つとされています。
	<p>CompTIA Security+</p> <ul style="list-style-type: none"> システムセキュリティにフォーカスした IT エンジニアを目指す方 ネットワークインフラストラクチャ、暗号技術、監査 Security+は、米国国防総省で取得が必須とされている他、マイクロソフト、HP、シスコといったベンダー資格の選択要件の一つとされています。

	<p>CompTIA Project+</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクトマネジメントスキルによる知識やスキルの向上を目指す方 ・ プロジェクトの立ち上げ、プランニング、実行、承認、終了を含むプロジェクトマネジメントの一連のプロセス
<p>CompTIA は、下記分野に関する認定資格の提供もしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ドキュメントイメージング ・ コンバージェンス ・ インストラクター 	

その他のカリキュラムオプション	
	<p>CompTIA Server+ では、PC サーバー上でのインストール、アップグレード、設定、トラブルシューティング、障害復旧について出題されます。</p>
	<p>CompTIA CTT+ (Certified Technical Trainer)では、インストラクターが持つべきであるコアとなるスキル、アクション、態度を評価し、クラスルームまたはバーチャルクラスルームといった環境における、コースの事前準備、プレゼンテーション、コミュニケーション、トレーニングの評価が問われます。</p>

CompTIA のラーニングコンテンツ	
ラーニングコンテンツの種類	内容
自学型自習	自学型自習のためのコース教材
講習形式	<p>講習形式トレーニングのための教材(同期型または非同期型)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インストラクター主導: クラスルーム環境下でインストラクターが使用する教材 ・ 学生主導: クラスルーム環境下で学生が使用する教材
Eラーニング	自習や、クラスルームトレーニング前後に使用される非同期型オンライントレーニング
試験準備ツール	学習内容や試験に向けた、アセスメント、模擬テスト、フラッシュカード等のツール

CompTIA トレーニングパートナーによる教材に関する詳細は、こちらよりご確認いただけます。

<http://www.comptia.jp/search/index.php>

アカデミックミーティングの実施(CompTIA 日本支局のみの提供)

IT 業界で働く企業の皆様や、採用を担当されている人事の皆様と先生/学生を対象としたセミナー(ワークショップ)を実施。企業で求められている人材像や必要とされる IT スキルをはじめ、「働くということは」「社会人とは」といった内容についてもお話をいただいています。(希望校対象)

割引バウチャーの提供

IT の学位を取得した学生、CompTIA 認定資格を活用した IT カリキュラムの受講を修了した学生は、認定資格試験の受験を強くお勧めします。CompTIA では、認定資格/認定試験の割引バウチャーを提供しています。また、CompTIA 実施の調査では、認定資格と学位の両方を取得している学生は、雇用率において優位であることが証明されています。作成されるカリキュラムに、試験バウチャーをバンドルすることで、充実したカリキュラムの提供が可能となります。

※各試験のバウチャー価格については、CompTIA 日本支局 Web サイトをご確認ください。

マーケティングツール/リソース

Academy Partner プログラムでは、パートナーのブランディング向上や効率的な運営を支援するため、調査報告、販促物、パートナーバナー、ポスター等、マーケティングリソースへの身近なアクセスを提供しています。

- ・ CompTIA パートナーオンラインディレクトリに掲載させていただきます。この名簿は、入学希望者のツールとして利用されています。※個人情報に基づき、掲載の可否については都度ご指示ください。
- ・ CompTIA 認定資格/認定試験の認知を高めるため CompTIA キャンペーンにご参加いただけます。

ビジネス拡張のためのツール/リソース

CompTIA は、教育機関と、IT 業界との橋渡し役として支援をします。急速に拡大する技術にあわせ、教育内容やカリキュラムも改善される必要があります。最新技術が反映されたコースを提供することは、ビジネスの拡張の大きな要素となります。

- ・ IT 業界のリサーチやニュースレターをご覧いただくことができます。(一部日本語されていますが、原則としては英語です。)

インストラクターツール/リソース

インストラクターのトレーニングや教育は、学生の育成を行う上で重要な要素となります。CompTIA は、コース内容や IT 業界に関する情報の提供を行います。認定資格を保有するインストラクターを揃えることで、学生の認定資格に対する理解を高めることができます。パートナーには下記を提供いたします。

- ・ インストラクター向けに無料バウチャー
- ・ 認定試験についてのトレーニングや模擬テストなどを無料で提供いたします。(英語のみ)

Academy Partner ポータルサイト

CompTIA Academy Partner ポータル(英語のみ)では、CompTIA 認定資格コースの提供を支援するリソースやマテリアルにアクセスいただけます。

III. Academy Partner 登録の条件

CompTIA は、パートナーが提供しているコンテンツやカリキュラム内容は非常に重要と考えます。そのため、Academy Partner プログラムにご登録にあたり、下記の条件を満たしている必要があります。

Summary of Program Criteria	
Criteria	Description
PARTNER CRITERIA	
年会費	無償(2012年4月1日より無償化スタート) 登録完了後、好きな認定資格/認定試験の無料バウチャーを2枚ご提供させていただきます。登録方法等の詳細については、CompTIA 日本支局よりご案内いたします。
割引バウチャー価格	7 ページ「割引バウチャーの提供」内価格表をご覧ください。
CAPP Academy Benefit の利用開始	CAPP Academy への登録が完了すると、CompTIA 認定資格/CompTIA 認定試験を受験される際、ピアソン VUE から CAPP Academy 価格でバウチャーを購入いただけます。登録完了後は、その他の Benefit についてもご利用が可能になります。
適切な CompTIA ロゴの使用	CompTIA ロゴやその他 CompTIA に関連したロゴなどをマーケティングツールや Web サイトなどにご利用される場合は、ロゴ利用ガイドにそってご利用ください。CompTIA では、教育プログラムやカリキュラムの信頼性を示すため CompTIA ブランドをご利用いただくことをお勧めしています。CompTIA ブランドやロゴを不適切に使用された場合は、プログラムのその他の Benefit のご利用を停止させていただく場合もございます。予めご了承ください。
ケーススタディなどの提供	CAPP Academy パートナーの学校に対して、CompTIA よりケーススタディなどの作成のご協力をさせていただく場合がございます。これはパートナーとプログラムの両方の価値向上を目指して実施をさせていただくものになりますので、ご協力をお願いします。
Curriculum Quality Standards	
CAPP Academy プログラム登録に際しての条件	CAPP Academy プログラム登録に際しては、原則として学校法人として登録がされている必要があります。(一部、政府機関や NPO としてトレーニングを実施されている学校も対象になる場合がございます。CompTIA 日本支局までお問い合わせください。)パートナー各校は、CAPP Academy プログラムに登録されている間は、この条件が維持されていなくてはなりません。
認定資格/認定試験のコースへのマッピング	パートナー各校では、CompTIA 認定資格/認定試験のコースをカリキュラムの中にマッピングしていただくをお願いしています。(次年度からでも問題ありません。)コースへのマッピングについては、CompTIA 日本支局やその他コミュニティなどがご支援をさせていただくことも可能です。
CompTIA Approved Quality Content (CAQC)	CAQC ロゴが掲載されているトレーニングコンテンツは、CompTIA から提供されている出題範囲に準拠し、適切なインストラクショナルデザインに基づいたトレーニングコンテンツであるということを証明しています。CompTIA では、各校で適切な教材をご利用いただくため、CAQC のロゴが掲載されている教育コンテンツをご利用されることをお勧めしています。(現在日本国内では、CAQC の制度は実施されておりません。)
Instructor Quality Standards	
講師/インストラクターの認定資格/試験の取得	CompTIA では、トレーニングを実施される講師/インストラクターの方が、提供される認定資格/認定試験を取得されていることをお勧めしています。対象となる認定資格/認定試験を取得いただくことにより、内容をご理解いただき、また必要とされる知識とスキルを持たれていることが証明され、学生の皆様に最適なトレーニングを提供することが可能となります。
「講習スキル」証明のため認定資格の取得	CompTIA では、講師/インストラクターの方適切な「講習スキル」を持っていることを証明するため、CompTIA CTT+, もしくはその他のトレーナー資格を取得されていることをお勧めしています。

CompTIA®